

被災からの売上回復に向けた営業力強化支援

住所	岩手県大船渡市盛町字みどり町12番地5	資本金	300万円
代表者	菊地 忠晴	従業員数	8名
創業年	平成元年3月	売上高	1億5,000万円(平成26年3月)
業種	産業廃棄物運搬事業		
TEL	0192-26-2607	URL	-

事業概要(被災前)

岩手県大船渡市にて、産業廃棄物運搬事業を営んでいる。
被災前の年商は約3億円程度で、20台の車両を保有していた。

被災概要

- ・大震災により、当社の本社建物は2メートル近い津波で建物構造体を残して大きく被災した。その結果、本社棟は殆ど使用不能となった。
- ・本社から1km離れていた中間処分施設も大きく被災したが、グループ補助金で修繕した。しかし、現在は倉庫として使用している。
- ・車両、重機等が津波で17台流出したが、2台が残った。現在は新車4台をグループ補助金で、中古車2台を自己資金で購入し、合計8台の運搬車両にて事業を運営している。

復興に向けた状況や課題

- ・震災で既存事業の売上が大きく減少し、ガレキ分別処理事業の売上を含めても平成26年3月期の売上は1億5,000万円となっている。
- ・ガレキ分別処理事業は暫く継続すると予想していたが、予想より早く事業が終了した事から、今後は既存事業の売上拡大に向けて、新規顧客開拓を進めていく必要がある。



支援テーマと内容

「被災からの売上回復に向けた営業力強化支援」

- ・借入金の返済に向けて、返済財源を確保するための事業計画を立案。
- ・顧客のランク付けを行い、上位ランクの顧客向けに顧客別販売戦略を検討し、トップ営業を展開。
- ・公共工事の発注情報を入手、整理することで、早期の営業活動を行う体制を構築。
- ・組織活性化のために、「経営理念」、「経営方針」、「経営目標」を策定し、組織内に浸透させる。

事業計画書策定支援



復旧した本社事務所



復旧した倉庫・車両整備工場



支援の成果

前期に比べて売上は減少したが、営業利益の赤字幅は減少した。また今期の経常利益は雑収入(補助金収入)を除いて、キャッシュフローベースで若干のプラスとなっている。

売上高は当月の予算比大幅増を受けて、累積でも予算比107%と好調である。また販売管理費もほぼ予算どおりである事から、結果として月次営業利益高及び累積営業利益高とも予算費増となっており、業績も回復傾向にある。

今後の事業展開

今後、売上目標を実現し、なおかつ安定的に企業が発展するための「組織活性化」に取り組んでいく。

さらに今回策定した経営理念や事業方針を実現するための「行動目標」も合わせて議論し、決定していく。

今期以降は積極的な営業活動を行い、更に高い予算を計上していることから、今後数年間での債務超過解消を目指していく。

事業者からのコメント

震災により、当社の既存事業は大きく売上が減少し、需要のある、がれき処理事業の売上が上がったものの、震災前に比べ、半分程度の売上実績でした。そのため経営改善が必要であるという認識はありましたが、どうして良いかわからない状況でした。震災復興支援アドバイザーからご指導いただき、具体的な経営改善に着手する事ができ、打ち合わせを進めていく中で、改めて経営理念、事業方針の重要性について理解する事が出来ました。今後は今回策定した行動目標をベースに、計画的な行動を心がけ、計画達成に向けて前進していきたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。



株式会社コウ
代表取締役 菊地 忠晴 氏

震災復興支援アドバイザーからのコメント

今回の支援は、売上高の把握、利益管理等の計数管理の重要性を理解していただく事から始めました。計画を立て、進捗管理を行い、目標とのずれがある場合は、「なぜ差異があるか」について愚直に分析していく事で、経営は良い方向に進んで行くものと思われれます。また、経営理念、事業方針の策定支援については、事業の根幹な部分であり、策定の重要性をご理解いただいた事は、今後の経営を行っていく上で、非常に重要な事です。

今後の売上回復に向けたストーリーはまだ始まったばかりで、これからが正念場と思われれます。今後もご支援させていただきますので宜しくお願い致します。



震災復興支援アドバイザー
齋藤 説明
経営計画・戦略策定、マーケティングに係る実績が豊富